

# シンラの旅-6 「大台ヶ原」 熊野古道を行く



エッセイ  
芦原 伸



# SINRA

# CONTENTS

各見出しリンク

▶ **SINRA-1 2014.9**  
「小豆島」 オリーブカントリー

▶ **SINRA-2 2014.11**  
「秋田」 マタギの里へ

▶ **SINRA-3 2015.1**  
「富岡」 富岡製糸場の歩き方

▶ **SINRA-4 2015.3**  
「北海道」 北海道ワイン紀行

▶ **SINRA-5 2015.5**  
「小笠原」 黒潮の孤島鶴来島漂流

▶ **SINRA-6 2015.7**  
「大台ヶ原」 熊野古道をいく

▶ **SINRA-7 2015.9**  
「信州木曾谷」 森林鉄道が消えた日

▶ **SINRA-8 2015.11**  
「霊峰月山」 死と再生の小宇宙

▶ **SINRA-9 2016.1**  
「丹後」 古代王国と、絹をめぐる道

▶ **SINRA-10 2015.3**  
「秩父」 絶滅危惧種再生へ、開ける道

▶ **SINRA-11 2016.5**  
「佐賀」 大海を越えた胡蝶の夢

▶ **SINRA-12 2016.7**  
「津軽」 ブラキストン幻の海

▶ **SINRA-13 2016.9**  
「五島列島」 クジラたちの海

▶ **SINRA-14 2016.11**  
「飯田」 天空の里、遠山郷

▶ **SINRA-15 2017.1**  
「北海道」 ジンギスカンをめぐる冒険

▶ **SINRA-16 2017.3**  
「宮城県」 猫たちの聖地

▶ **SINRA-17 2017.5**  
「京都」 神が授けた、いのちの水

▶ **SINRA-18 2017.7**  
「熊楠」 の森をめぐる冒険

▶ **SINRA-19 2017.9**  
「カナダ」 極北の大地に生命が燃える

▶ **SINRA-20 2017.11**  
「宮崎」 神楽仮面の謎を探る

ご購入

[Fujisan.co.jp](http://Fujisan.co.jp)  
株式会社フジサン

ご購入

[amazon.co.jp](http://amazon.co.jp)  
プライム

大台ヶ原・  
熊野古道を行く

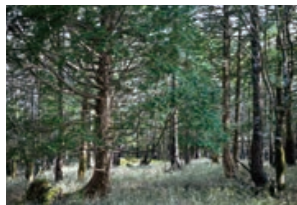
# ニホンオオカミ幻視行

ニホンオオカミは1905（明治38）年、奈良県東吉野村で絶滅したという。古来、山の神として人々が崇めてきたオオカミはなぜその姿を消したのか。ニホンオオカミゆかりの地を訪れ、その答えを探った――。

文／芦原伸（ノンフィクション作家） 写真／戸川 寛  
協力／奈良県



1987（昭和62）年、奈良県東吉野村に建立されたニホンオオカミのプロンズ像。奈良教育大学教授、久保田忠和氏の手によって再現された



### トウヒ林の倒木更新

大台ヶ原山にはトウヒの倒木がよく見られる。親木が飛ばした種子が倒木に落ち、その上で稚樹が育つことを「倒木更新」というが、森の中ではこうした樹木の世代交代が間近に観察できる。



### 「魔の山」の妖怪伝説

歩きやすい山として知られる大台ヶ原山だが、雨が降ると濃い霧が周囲を覆い尽くすこともあるため、油断は禁物。大台ヶ原はかつて「魔の山」として恐れられ、妖怪が現れる伝説もあったという。



### 大台ヶ原ビジターセンター

大台ヶ原利用者のための案内所・登山届出受付所。登山者向けのマップや利用ガイドなど情報を提供するほか、大台ヶ原を知るための展示ホールやレクチャーホールなども設置している。

- 📍 奈良県吉野郡上北山村小椋660-1
- ☎ 07468-3-0312
- 🕒 9:00~17:00
- 🗓 11月下旬~4月下旬（冬季閉鎖期間）



大台ヶ原へのアクセス：近鉄大和上市駅から大台ヶ原行バスで約1時間44分、「大台ヶ原」下車（4月下旬~11月下旬期間限定）



Special Feature  
大台ヶ原・熊野古道に行く  
ニホンオオカミ sighting



## 吉野熊野国立公園

# 大台ヶ原

奈良県・三重県・和歌山県の紀伊半島3県にまたがる吉野熊野国立公園。大台ヶ原山はその一部で特別保護地区に指定されている日本百名山のひとつだ。その名の通り、広い台地状の地形をした大台ヶ原山は、「歩きやすい山」として登山客たちから親しまれている。登山コースは一般登山者向けに歩きやすく整備された「東大台」と、ブナ等の原生林が広がり神秘的な雰囲気を感じられる「西大台」（要事前申請）の2つが用意されている。

※冬季（11月下旬~4月下旬）は残雪のためゲートが閉鎖され人が立ち入ることはできない

大台ヶ原ドライブウェイの道中には視界が開ける場所が数カ所あり、大峰山脈や台高山脈など1000m超の山々を見ることができる

# 東吉野村

観光・催し

YouTube JP

移住定住ビデオ

東吉野村ビデオ



## 東吉野村の夏休み

かつてオオカミが暮らしていた自然豊かな東吉野村。田舎の夏が満喫できる魅力的なスポットを一挙紹介！

パワースポットがお出迎え

東吉野村は都会の喧騒を離れ、ゆったり夏の大自然を楽しめる場所だ。

まず車で吉野町から県道16号線を走り東吉野村へ向かうと、村の入口付近で突如杉林に覆われた直線道が姿を現す。一瞬にして幻想的な空間に変わり、通り抜ける間に自然と気分もリセットされていく。そんな不思議なパワースポットが迎えてくれる。

さらに川沿いに奥へと進むと役場や小学校などが建つ村の中心地に到り着く。この付近には高見川の清流を眺めながらのんびり過ごすことができる民宿や旅館があり、天然のアマゴやアユなどの川魚、鹿肉や猪肉などのジビエ料理を提供、ランチ営業も行っている。東吉野村は一般的な観光地ではなく商業施設や飲食店がほとんどない

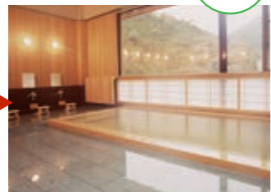
が、宿のランチさえあれば食事処に困ることもなさそうだ。

村内には約6ヶ所の滝がある。おすすめはレトロな吊り橋が魅力的な「魚止の滝」、東吉野村の定番スポット「七滝八壺」、そして落差15メートル、圧巻の「投石の滝」で、それぞれ異なる見所がある。夏場はひんやりとした空気とマイナスイオンを体感したい。

一方、山にはわらび狩りが楽しめる天然わらび園「花ごころ」がある。東吉野村はわらびの名産地で、「クロワラビ」という地名が存在するほど。全国に熱狂的なファンをもつ東吉野村のわらびは、年に1度、春から初夏の期間でしか手に入らないため、毎年多くの人たちが県内外から訪れるという。ぜひ、東吉野村でしかできない体験を満喫して、今年の夏休みを充実させよう。

### やはた温泉

温泉に入る



四郷川の畔に建つどかな温泉。木の香りがふんわり漂う古代ひのき風呂と、御影石の色彩鮮やかな岩風呂の2種類が週替りで楽しめる。

- 大豆生720-2 ☎0746-43-0333
- 大人500円 小人200円 ☎11:00~21:00
- 火曜、12/29~1/1

わらび狩りをする



### 天然わらび園 花ごころ



標高700m、5haのわらび園でわらび狩りを体験。採ったわらびは100gあたり100円で買える（休日には20円増）。

- 小クロワラビ1464
- 0746-42-0567(要予約)
- 大人400円 小人200円
- 9:00~17:00(4月中旬~6月中旬まで)
- 火曜、金曜

### 四季天然料理の宿 杉ヶ瀬

食べる泊まる

清流の音が気持ちよく響く田舎の宿。新鮮なアマゴ山菜料理、若い雌豚の肉を使った極上の天然ぼたん鍋、珍しい鹿の刺身など、こだわりの詰まった料理を提供する。

- 小川443
- 0746-42-0012
- 14,580円~(1泊2食付)



### 民宿 ますもと

川の幸が堪能できる民宿兼食事処。ランチのおすすめは天然アマゴの釜飯(1,200円)。自然農の柿の葉で寿司を包んだ、ますもと自慢の「柿の葉寿司」も味わえる。

- 小栗橋62-1 ☎0746-42-0145
- 6,800円~(1泊2食付)



### OFFICE CAMP

移住者 坂本大祐さん

川の畔でシェア職場を経営

ひなびた田舎風景が続く村の一角に、洗練されたシェア職場「OFFICE CAMP HIGASHIYOSHINO」がある。2015年3月、大阪府堺市出身でデザイナーの坂本大祐さん(39)が空き家を改装して多目的施設としてオープンさせたものだ。坂本さんは中学時代に1年間、東吉野村で山村留学を経験、「自然の中で働きたくて、8年前に移住しました」と話す。オフィスの用途は幼稚園児の集いから役場職員の会議まで多岐に渡り、村に新しい働き方が生まれつつある。



- OFFICE CAMP HIGASHIYOSHINO
- 小川1610-2
- 0746-48-9005
- 500円(1人1日)
- 10:00-17:00
- 火曜、水曜

### 魚止の滝



吊り橋を歩く



七滝八壺から大又川(四郷川)の上流へ約1km細い斜面の道を登って行くと、ドキドキと冒険心をくすぐるレトロな鉄の吊り橋がうっすらと姿を現す。落差8mの滝は橋を渡って見ることもできるが、橋からの眺めがおすすめ。

- 大又/駐車場(七滝八壺の駐車場から徒歩約20分)

神社を訪れる

### 投石の滝



白馬神社境内にある落差15m、迫力満点の直瀑。別名「不動の滝」。美しく整備された境内は和の風情が漂い、樹齢千年の立派な衣掛(きぬかけ) 杉も立っている。滝、神社、巨木の3拍子揃った魅力的なスポットだ。●滝野503/駐車場あり



滝の音を聞く

### 七滝八壺



「七転び八起き」になぞらえた七滝八壺は「平成の名水百選」のひとつ。総落差約50mの滝は眺めるだけでも圧巻だが、注目は滝の音だ。岩と杉の木に囲まれた神秘的な空間はまさに「自然のサウンドホール」を演出、壮大な音が響き渡る。

- 大又/駐車場あり

